

裏面白紙

宗  
西  
慶應大正二年一月廿三日

官報報告

立案 大正二年一月廿三日  
決裁 大正 年 月 日

宗秩察總裁 (印)

宗秩察主事

(印)

(印)

事務課

(印)

大臣

次官

(印)

海軍中將正五位勳三等功三級江頭安太郎  
特旨叙位ノ件

回  
二年一月廿八日

完  
一月三十一日  
九  
九  
九

大正二年一月廿三日  
臺帳記入一月廿三日官報報告  
濟

(元)

宮内省

七



海軍中將正五位勲三等功三級江頭安太郎  
特旨ヲ以テ位一級被進

正五位勲三等功三級江頭安太郎

叙從四位

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正二年一月二十二日

内

閣

内閣總理大臣公爵桂 太郎



裏面白紙

海一〇

一月二十三日裁可

大正二年一月廿二日

内閣書記官

内閣總理大臣



内閣書記官長

星

海軍中將正五位勲三等功三級江頭安太郎ハ高等官在職十年以上ニシテ勤勞不尠候處目下病氣危篤ノ趣ニ付叙位進階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以テ位一級可被進旨上奏相成然ルヘシ

海軍中將正五位勲三等功三級江頭安太郎

敘從四位

右謹<sub>テ</sub>奏ス

大正二年一月二十二日

海軍大臣男爵齋藤

實



海軍

海秘第一八號

大正二年一月二十二日

海軍大臣男爵齋藤

實



内閣總理大臣公爵桂 太郎殿

江頭海軍中將ハ多年軍職ニ在テ克ク其任務ヲ盡シ功績顯著ノモノニ候處不幸病ニ罹リ今ヤ危篤ニ陥リ到底存命覺束ナク候ニ就テハ文武官叙位進階内則第4條ニ依リ特ニ位一級被進度別紙上奏書進達ス

終

海軍

天正二年一月廿三日發送



丙 交付大正二年一月廿三日 第三

立案 大正二年一月廿三日  
決裁 大正二年 月 日

宗秩寮重直



常務書記官



案

海軍中將正五位勲三等功三級江頭安太郎

特旨ヲ以テ位一級被進

正五位勲三等功三級江頭安太郎

叙從四位

宮内省

右之通奉日 宣下相成候條此旨及傳達候  
位記並辭令ハ明日可及回送候也

大正二年一月二十二日

宗秩寮總裁

海軍大臣

(元)

102

天正二年一月廿三日



丙  
大正二年一月廿三日

一海軍中將白鳥佐重等功三級江頭安右郎

右位記並辭令及廻送候條交付方御取計有之度候也

大正二年一月廿三日

宗秩寮總裁侯爵久我通久

海軍大臣

宮内省

(五〇)

103

裏面白紙